

## 浄土真宗本願寺派



## 国際伝道 その4

## 本願寺 カナダ開教区（前編）

カナダ開教の歴史を紐解くと、初代開教使がカナダに派遣されたのは1905年のことである。しばらくは北米教団の一部として活動を行うが、1933年に独立を決定し、「カナダ開教監督事務所」（後のカナダ教団）が設立された。

現在では寺院数12ヶ寺、開教使約6名で広大な土地での伝道活動に従事しており、護持会員数は約1500名を数える。

2005年に開教100周年記念事業として、教育研修施設「リビング・ダーマ・センター」を開設し、広くカナダの一般社会にむけた活動を行っている。

カナダにおける浄土真宗伝播の歴史は、アメリカなどと同じく、日本人移民の歴史と密接に関係している。日本人で初めてカナダへ移り住んだのは1877（明治10）年、長崎県出身の水夫であった長野万蔵氏との記録が残されている。1887（明治20）年以降、バンクーバー周辺地域に多くの日本人が移住するようになり、やがてその数1万人を超える、その中から民家の一室に集まり法話会を行うグループが形成されていった。1904（明治37）年、有志たちによって「同胞大会」が開催され、本願寺に僧侶の派遣を要請することが決議された。翌1905（明治38）年、その声に応え、カナダで初の開教使となる佐々木千重師がエンプレスジャパン号でバンクーバーに到着。



カナダ教団本部



トロント仏教会リビングダーマセンター

当時はまだ礼拝施設が無かった為、日本人街にあった旅館の一室にご本尊を安置して「日本仏教会」と称し伝道活動を開始した。1911（明治44）年に十分な募財が集まり、カナダの歴史において初めての仏教寺院が建立されることとなる。

その後しばらくは北米仏教団の一部として活動することとなるが、次第に仏教会の数や門信徒の数も増加してゆき、1931（昭和6）年2月21日の総会において、米国仏教団より独立してカナダ開教本部を設ける事が決議された。

1933（昭和8）年6月20日、本願寺より正式に本部開設の許可が下り、名称を「カナダ開教監督事務所」と定められた。

講師 加藤英象師

「柏原御正忌報恩講」（柏原説教堂）

一月二十一日（火）昼席・夕席

二十二日（水）朝席・昼席



（広島県豊田郡大崎上島町淨泉寺）

「宗祖聖人月忌・

門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）

一月十六日（木）午後一時半、

\*毎月十六日に本堂において勤めております。

講師 服部法紹師（呉市豊浜町登照寺）  
\*送迎マイクロバスを運行します。

「御正忌法要」（善教寺本堂）

一月十一日（土）朝席：午前十時、

昼席：午後一時半、

「元旦会」（善教寺本堂）

一月一日（水）午前七時、

「除夜会」（善教寺鐘樓堂）  
十二月三十一日（火）午後十一時四十五分、  
\*鐘樓堂にて除夜の鐘を撞きます。



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp